

大学と社会との新しい連携の推進を目指して

このたび涉外・産学協創担当の副学長を拝命いたしました。昨年の組織改変により新たに設けられました社会連携本部の副本部長を務めさせていただきます。

大学は知を生み出し、知の実践を担う人材を育てる社会的使命があります。近年は、知の高度化、複雑化が急速に進んでいるため、大学の「社会との連携」がより一層重要視され、それを担う組織の拡充が必要となっております。

わが国の研究開発費の政府負担割合は主要国の中では低く、大学においても研究費を公的資金だけでは賄いきれません。今後は、産学が連携して資金と人材を確保する諸方策を駆使し、新しい価値を生み出していく基礎・応用研究拡充の重要性がますます高まっております。

これまで私は、長年、レアメタルをはじめとする非鉄産業と様々な産学連携活動を行ってきました。最近では、大学の部局と企業との包括的な連携研究の仕組みづくりや、若手教員の産学連携活動をプロモートするお手伝いなどにも取り組んでおります。また、本学の諸活動を世界規模で展開するために設置された東京大学ニューヨークオフィスの開設のお手伝いもしました。これらの経験を活かし、本学が推進する社会連携の推進に寄与できればと考えております。

私一人ができることは限られておりますが、大学を取り巻く人的ネットワークを充実させ、大学が国内外の企業等と連携して社会に大きな貢献をする新たな仕組みづくりに少しでも貢献できれば幸いです。

副学長

岡部 徹

Toru Okabe



昭和63年3月 京都大学工学部冶金学科卒業
平成2年3月 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
平成5年3月 同 博士課程修了 博士（工学）
平成5年5月 日本学術振興会海外特別研究員／マサチューセッツ工科大学博士研究員
平成7年10月 東北大学素材工学研究所・助手（現：多元物質科学研究所）
平成13年1月 本学生産技術研究所助教授
平成21年1月 同 教授
平成26年4月 本学総長補佐
平成27年4月 本学生産技術研究所・副所長
専門分野：材料化学、環境科学、レアメタルプロセス工学
研究内容：“プロセス技術がレアメタルをコモンメタルに変える”ことを夢見て、チタンなどの新製錬技術の開発を行っている。
最近では、PGM（白金族金属）、レアアース（希土類金属）、タンタル、タングステン、レニウムなどのレアメタルの製造プロセスや新規リサイクル技術、環境技術の研究も行っている
趣味：野外活動（アウトドアライフ）、イモリの飼育